

2019年度 教育会イベント 実施一覧

| 開催日 | イベント名 | 講演者・実施内容等 |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 2019年10月29日 | 企業が求める「主体性」とは何か | 「企業が求める『主体性』とは何か～企業の管理職者の視点から～講演会・ディスカッション」 企業が求める「主体性」に着目し、以下についての講演、ディスカッションを実施した。 ① 企業が求める「主体性」とは、何を意味しているのか、 ② 企業では、「主体性」などの資質・能力を、仕事を通じてどのように育成しているのか |
| 2019年11月11日 | 探究学習の可能性をさらに探る～深い学びの実現を目指して～ | 共同的な学習におけるMI理論を活用したグルーピングと、省察についての深い学びに重点をおいたワークショップを実施 |
| 2019年11月23日 | 多様なキャリア形成を考えるー学校とLGBTー | シンポジウムにおいて、パネリストより学校現場におけるLGBT への取り組みの必要性やLGBT の子どもが学校生活で困ること等について聞き、参加者一人一人がLGBT の子どもたちとの望ましい関わり方について考え、今後の教員生活へ活かす機会とした。 |
| 2019年11月29日 | 子ども食堂からみえる子ども・大人・地域社会 | 日本の子ども食堂の先駆けとなった「気まぐれ八百屋だんだん」(大田区)を運営する近藤博子氏を講師に招き、子ども食堂と、食堂を訪れる子ども達の現状について講演した。 |
| 2019年12月1日 | 小学校「プログラミング教育」勉強会 | 「小学校プログラミング教育」についての講演会を実施した。 小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、その方向性の検討や、具体的にどのような実践を行うことができるかを検討・体験した。 |
| 2019年12月12日 | 中米コスタリカに学ぶ、二一世紀平和憲法の未来 | 「映画『コスタリカの奇跡』を観て二一世紀の平和憲法のあり方について考える」 日本では不戦を謳った第九条と同様の条項を持つ憲法を有する中米のコスタリカでは、21世紀に相応しいものとしてこれを打ち出し、国内外にアピールする姿勢をより鮮明にしている。企画ではそうしたコスタリカの取り組みを描いた映画『コスタリカの奇跡』(マシュー・エディー、マイケル・ドレリング監督、2016年)を上映。併せて、元朝日新聞記者で中南米支局長時代よりコスタリカを含むラテンアメリカ地域を精力的に取材し、現在はベースボール等の講師として平和憲法と民主主義の意義を説いている伊藤千尋氏をお |
| 2019年12月20日 | 身近なサイエンス・実験教室 | 概説→実験→詳解のフローにて、実験の体験を通し現象を理解し、自然科学に向かう洞察力を養う ・水の気化、液化する際の体積の比較観察 ・イオン化傾向の応用、合金の生成 |
| 2020年1月18日 | 外国籍児童生徒とキャリア教育 | □文部科学省の調査では、日本語指導が必要な児童生徒の割合は、増えているとされているが、適切な文化理解のもとに指導がなされていない。また、在留資格の問題や企業の受け入れ態勢の問題等によって、進路指導担当教諭の指導が複雑になっている問題点を本シンポジウムにおいて、問題提起をするとともに、パネリストから外国人児童生徒の学校適応と進路指導の2点を中心にお話を聞き、学校内での異文化共生社会の実現に向けて現場では何ができるのかについて考えた。 |
| 2020年1月29日 | 学びのユニバーサルデザイン 学びのオーナーシップは誰のもの？ | 講演会・ワークショップ 子どもたちが主導する「主体的・対話的で深い学び」を実現する かが教師にとって喫緊の課題である。学習者 主導の学びを教室で実現していくためには、教師一人ひとりの在り方(マインドセット)が大きく転換しなければならない。そこで、近年急速な広がりを見せ、日本でも 少しずつ 実践が 広がりにつつある UDL を日本の教室 と 関連付けながら学んだ。 |
| | 教員就職指導会 | 複数回実施 ・合格体験談 ・論文指導 ・『小学校教員資格認定試験』体験発表会 |